

# 中国株ウィークリーレポート

2020/5/11

## 【指数日足チャート】

### ▼ハンセン指数



### ▼上海総合指数



## 【主要株価指数】

	週末終値	前日比	変化率 (%)	週間騰落率 (%)	年初来騰落率 (%)	19年末株価
NYダウ	24,331.32	455.43	1.91	2.56	-14.74	28,538.4
NASDAQ	9,121.32	141.66	1.58	6.00	1.66	8,972.6
日経225	20,179.09	504.32	2.56	2.85	-14.70	23,656.6
上海総合	2,895.34	23.82	0.83	1.23	-5.07	3,050.12
滬深300(CSI300)	3,963.62	38.73	0.99	1.30	-3.25	4,096.58
ハンセン	24,230.17	249.54	1.04	-1.68	-14.05	28,189.75
中国企業	9,868.34	104.08	1.07	-1.72	-11.64	11,168.06

## 【株式概況】

### 先週の動き:ハンセン指数は1.7%安と反落、上海総合指数は1.2%高

香港市場ではハンセン指数が週間で1.7%安と反落。新型コロナウイルスの感染拡大を巡り、米国が中国に対する関税の引き上げや損害賠償の請求などを検討していることが報じられ、米中対立の再燃が相場の重しとなった。一方、中国の全国人民代表大会の開催を前にした政策期待が相場の下支え要因で、週末にかけてやや持ち直す展開となった。本土市場は5日までメーデーの連休だったため3日間の取引。上海総合指数は一進一退の展開ながらも3日間で1.2%高と続伸した。

### 今週の展望:香港市場は堅調な展開か、各国の経済活動再開期待が追い風

香港市場は堅調な展開か。各国で新型コロナの感染拡大に伴う移動や経済活動の制限について徐々に緩和の動きが広がり、世界経済の先行きに対して過度の警戒感が後退。今週も米中対立の激化懸念はくすぶるものの、新型コロナを巡ってはネガティブな材料よりもポジティブな材料が出やすい状況となっている。今週発表が予定されている中国の経済指標についても強い内容が出てくれば追い風となりそうだ。本土市場も全人代の開催を前に政策期待が高まりやすく、今週は堅調な展開が予想される。

## 先週のハンセン騰落ランキング

### ▼騰落率上位

	週末終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 創科実業 (00669)	64.90	9.91
2 吉利汽車 (00175)	12.96	6.93
3 銀娛娛樂 (00027)	53.70	6.44
4 舜宇光学科技 (02382)	115.70	5.09
5 中国生物製薬 (01177)	11.88	4.76
6 瑞声科技 (02018)	39.05	2.90
7 九龍倉置業地産 (01997)	33.60	2.60
8 石業集团 (01093)	15.76	2.34
9 申洲国際集团 (02313)	91.35	1.11
10 中銀香港 (02388)	24.05	0.84

### ▼騰落率下位

	週末終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 中国海外発展 (00688)	25.80	-9.31
2 恒安国際集团 (01044)	64.95	-6.07
3 中国人寿保険 (02628)	15.60	-5.68
4 シバック (00386)	3.70	-5.61
5 ファイ・モバイル (00941)	59.10	-5.36
6 万洲国際 (00288)	7.13	-4.68
7 恒基兆業地産 (00012)	30.50	-3.79
8 新鴻基地産 (00016)	102.40	-3.76
9 香港証券取引所 (00388)	242.80	-3.65
10 中電控股 (00002)	80.00	-3.38

## ▼今週の主なイベント

- 5月12日(火)
- 【中国】CPI、PPI(4月)
- 5月15日(金)
- 【中国】鉱工業生産、小売売上高(4月)、固定資産投資(1-4月)

### ▼今週の期待材料

- ◆中国で延期されていた全人代が22日に開幕、開幕を前に本格的な景気対策に期待が高まる公算
- ◆中国の4月の貿易統計で米ドル建て輸出が前年同月比3.5%増とプラス成長を確保、ポジティブサプライズに
- ◆中国で新型コロナの終息近づく、新型コロナによる中国の死者数は先月15日以降ゼロの日が継続

### ▼今週の懸念材料

- ◆米国で発表された雇用統計で非農業部門雇用者数が2050万人減、失業率が14.7%と記録的な水準に悪化
- ◆新型コロナを巡る米中対立の激化懸念がくすぶる公算、米国が再び強硬姿勢を示す可能性も
- ◆メーデー連休中の中国の1日当たりの航空旅客輸送量が前年同期比64%減少、厳しい経営環境続く

## 【今週の材料銘柄】 ☆…ポジティブ ★…ネガティブ ◇…中立

- ☆ 東風汽車集団 (00489) : 4月の新車販売台数が8%増加、商用車は28%増
- ☆ SMIC (00981) : 13日に1-3月期決算を発表、市場予想は純利益3.7倍
- ☆ Qテクノロジー (01478) : 4月のカメラモジュール出荷量が3%増加
- ☆ IMAXチャイナ (01970) : 国務院が国内映画館の再開を条件付き許可へ
- ★ 越秀地産 (00123) : 4月の不動産販売額が20%減少、販売面積は23%減
- ★ テンセント (00700) : 13日に1-3月期決算を発表、市場予想は9%減益
- ★ 合景泰富集团 (01813) : 4月の不動産販売額が3%減少、1-4月は12%減
- ★ 瑞声科技 (02018) : 15日に1-3月期決算を発表、市場予想は73%減益
- ★ 長城汽車 (02333) : 4月の新車販売台数が4%減少、1-4月は37%減
- ★ 舜宇光学科技 (02382) : 4月の携帯端末用レンズセット出荷量が2%減少

本レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するようにはしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります。また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則平 14.1.25」に基づく告知事項>

本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。